

水 泳 静 岡

第77回国民体育大会 いちご一会とちぎ大会

水泳競技は、9月10日（土）～19日（月）に、会期前実施競技として開催されました。

各競技別に報告をいただきましたので紹介いたします。

＜水泳 総合成績＞

静岡県 天皇杯 10位 84.5点 皇后杯 17位 33点

競泳 52点 飛込 10点 水球 12.5点



◆競泳

競泳の結果をご報告いたします。

順位	氏名	区分	距離	種目	タイム
2	内村駿斗	少年男子A	50	自由形	23秒20
3	望月絹子	成年女子	400	自由形	4分12秒99
4	松本周也	成年男子	50	自由形	22秒40
4	鈴木月渚	少年女子A	50	自由形	26秒12
5	高橋航太郎	成年男子	100	自由形	49秒85
5	奥大輝	少年男子B	100	背泳ぎ	58秒53
5	伊藤亜香利	成年女子	200	個人メドレー	2分17秒77
5	松本周也	成年男子	200	個人メドレー	1分59秒80
8	大澤千依	少年女子B	200	個人メドレー	2分21秒03
4	増田莉蔵・大木優瑠・ 鈴木麻央・杉山大晟	少年男子A	4×200	フリーリレー	7分29秒33
7	松本周也・高橋航太郎・ 村田迅永・野極陽向	成年男子	4×50	フリーリレー	1分30秒59
7	野崎由夏・鈴木ひな子・ 大澤千依・上原夏南	少年女子B	4×100	フリーリレー	3分56秒19
7	松本周也・釜田起来・ 小林拓・高橋航太郎	成年男子	4×100	メドレーリレー	3分38秒12
8	鈴木月渚・山田芽帆・ 中島芽郁・磯江月希乃	少年女子A	4×100	フリーリレー	3分51秒53

☞ 競泳監督、少年男子監督からのコメントは、次のとおりです。

競泳監督 戸塚雅晴（競泳委員長）

「目標の50点を上回る52点を獲得することができました。52点中、成年が27点獲得できたこ

とが大きかったです。3年ぶりの国体ということでいつもより多くの選手を選考しましたが、この経験が来年以降に生きてくると思います。」

少年男子監督 鈴木淳矢（競泳副委員長）

「非常に良い雰囲気ของทีม作りができました。1人の選手に種目が集中し、負担が大きくなってしまいましたが、よく頑張ってくれました。」

競泳委員会では、来年度に向け、さらに活躍ができるよう磨きをかけていきたいと思います。引き続き、応援のほどよろしく願いいたします。



成年男子4×50mフリーリレー決勝

◆飛込

静岡県飛込選手団 全員入賞

飛込 山本敬樹

9月に栃木県で行われた第77回国民体育大会飛込競技に出場した4名の選手全員が入賞を果たすことができた。

初日に少年女子高飛込に出場した青山由唯加は、持ち味である正確な踏切から終始安定感のある演技を続け5位入賞を果たし、チームに勢いをもたらした。

続く2日目は、少年男子高飛込で柳沼凌士がメリハリのある空中動作と切れのある入水で高得点を獲得し7位入賞を決めた。続く成年男子飛板飛込に出場した山田周汰は、腰痛を抱え直前まで不調が続いていたが、本番では高い集中力を発揮し7位に入賞した。

そして最終日、成年男子高飛込に萩田拓馬が出場した。今回の萩田は演技が安定せず、4本目を終えて入賞圏外となる苦しい戦いとなった。しかし、5本目と6本目で70点を超える高得点をたたき出し、7位に入賞し意地を見せた。

本年度思うような結果が残せず苦しんだ萩田だが、練習では本来の動きを取り戻しつつあり、本来の力を発揮できればまだまだトップレベルで戦える力があると感じた。この大会をきっかけに多くの大会で表彰台に返り咲いてもらいたい。

今大会は私にとって平成15年の静岡国体以来の国体で、指導者としては初めての参加となった。私のコーチとしての力は微力であったが、内藤監督のもとチームが一丸となって戦えたことが全員入賞という結果に繋がったと感じる。また静岡県水泳連盟のスタッフの皆様のサポートや応援も大きな力となった。こうした素晴らしい環境の中で大会に関わることができたことに改めて感謝申し上げます。



寺田総監督から激励を受ける選手団



全員入賞！！

◆OWS

第 77 回栃木国体を終えて（OWS 競技）

OWS 委員長 朝倉 誠喜

3年ぶりの国民体育大会となりました。今年度は、佐々木龍希選手は上位入賞、と八木紀香選手は入賞と大きな期待がかかっていた。しかし、大会直前になり競技会場に大量のアオコが発生し、水質基準を満たさず選手の体調に悪影響が出る恐れがあるとの判断で、大会前日の監督者会議で中止という大変悔しい結果となりました。

【前々日】

大会2日前になって栃木県国体実行委員会より、競技会場となっている市貝町塩田調整池特設競技場にアオコが大量発生し、水質検査が必要となりました。その影響で前日の公式練習と監督者会議の予定が入れ替わり、シャトルバスの時間も急遽変更となりました。

【前日】

大会前日朝に出発し、宇都宮駅に到着すると変更する予定のシャトルバス時間が公開されておらず、駅構内に設置されていた国体総合案内所に行きました。そこで、変更されたシャトルバスの時間を訪ねたところ、OWS 競技の担当市町は、市貝町なので連絡がきていないためわからないとの回答でした。その場で担当者と連絡を取って確認してもらいましたが、対応が間に合っていないことに不安が募りました。

何とかシャトルバスに乗車し、市貝町の監督者会議会場に到着すると、注文した弁当が当初公式練習会場で配布される予定でしたが、アオコの影響で予定が変更したのにも関わらず弁当の受け取り場所の変更がされておらず、弁当を注文した関係者は困惑していました。

公式練習は競技会場のアオコの影響で選手の体調を崩してしまう恐れもあったため、急所近隣のプールで練習ができる環境を探し確保しました。

監督者会議が時間より少し遅れて開始し、日本水泳連盟の鈴木浩二常務理事より「中止」の発表がありました。会場はどよめき、何で事前に確認して対応できなかったのか、もっと事前に発表できなかったのか、会場を変更して開催できなかったのかなど、落胆しました。

一番可哀そうなのは選手です。この日のために努力し、予選会を突破して準備を進め調整してきました。また、本県の佐々木龍希選手のように競技生活の集大成として臨んでいる選手もいます。大人の都合で選手の努力や目標をつぶしてしまうようなことは、今後二度とあってはならないことだと痛感しました。

遠方より参加している沖縄県選手団をはじめ、全国から集まってきた関係者全員には、やり場のない怒りに悔いの残る国体となってしまいました。

最後にコロナ禍の中で、国体実行委員会や県スポーツ協会の連絡調整から準備、対応をしてくださった県水泳連盟事務局をはじめ、選手にご対応いただきました関係者の皆様にこの場をお借りして感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。



監督者会議会場

◆水球

<結果報告>

少年男子1回戦

静岡(選抜) VS 鹿児島(鹿児島南高)

※8対6で勝利、準々決勝に進む

少年男子準々決勝

東京(選抜) VS 静岡(選抜)

※16対9で敗退



試合前、気合の円陣を組む静岡県選抜チーム

委員会情報

※各委員会より寄せられました情報を掲載いたします♪

★普及委員会★

<各講習会・研修会のお知らせ>

公認水泳コーチ1・2、基礎水泳指導員更新研修会

<日時> 2023年2月12日(日) 9:00~16:00

<場所> 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

<講師> 萩原 智子氏(オリンピック、日本水泳連盟アスリート委員長)

<定員> 50名(先着順)

<申込期日> 2022年12月1日(木)~2023年1月13日(金)必着

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、代替措置として以下のレポート課題提出でも研修修了扱いとなります。

<対象者> 資格有効期限が「2024年3月31日まで」の者で、4年間で一度も研修会に参加していない者

<課題> 「学科研修レポート」と「実技研修レポート」それぞれ1000~1500字

<申込期日> 2022年12月1日(木)~2023年1月31日(火)必着

詳細については、県水連ホームページにある要項をご確認ください。



★AS委員会★

<各大会の報告>

●2022年8月10日(水)~12日(金) チャレンジカップ2022(東京辰巳国際水泳場)

<ソロ フリー>

高澤 希輝(イール浜松) 11位

●2022年8月22日(月)~25日(木) 第45回 JOC ジュニアオリンピックカップ

(横浜国際プール)

<10歳~12歳 ソロ> 河口 陽依(イール浜松) 16位

<16歳~18歳 ソロ> 高澤 希輝(イール浜松)

テクニカルルーティン 6位

フリールーティン 4位

総合 5位

<16歳～18歳 ソロ> 畑中 愛梨 (イール浜松)

テクニカルルーティン 8位

フリールーティン 8位

総合 8位

<16～18歳 デュエット> 高澤 希輝・畑中 愛梨 (イール浜松)

テクニカルルーティン 4位

フリールーティン 4位

総合 4位

●2022年9月4日(日) リズムフェスティバル 浜松市総合水泳場

幼児から高校生ままでが参加しました。

●その他

①11月13日(日)に日本代表選考会があり、2名の選手がチャレンジします。

②2023年は、ルール改正により、採点方法がこれまでにないほど大きく変更されます。フィギュアスケートの様な採点方式(加点)となり、選手、指導者、審判、役員の全員が対応していかなくてはなりません。沢山の方に、より楽しんでいただけるよう取り組みたいと思います。



リズムフェスティバル



幅広い年齢層で楽しめる AS

★生涯スポーツ委員会★

「日本スポーツマスターズ2022」が、9月3日(土)、4日(日)の両日、岩手県盛岡市立総合プールにて開催されました。

男子200m個人メドレー 65歳～69歳の部および男子50m背泳ぎ 65歳～69歳の部で、見事優勝を果たしました「森 晴明選手」にインタビューをいたしました。

SS : 「この度はおめでとうございます。率直なご感想をお聞かせください。」

森選手 : 「この大会は、5歳刻みの年齢区分で行われますが、その中の上から2つめ(2番目に年齢が高い)でした。自分より若い選手と戦った中での優勝はとても嬉しいです!」

SS : 「日頃、どのくらい練習していますか?」

森選手 : 「1週間に4回程度、約3000m～5000mかな。その時々で違いますが・・・」

SS : 「かなりの練習量ですね。これだけの練習を続けるために、何か気をつけていることなどありますか?」

森選手 : 「実は腰痛のため、しばらく練習ができず、7月から再開をしました。そのため、これまでのがむしゃらに泳ぐ練習から自分の身体と向き合い、常に身体と相談しながら練習をするように心がけました。また、若い選手以上に食事と体重コントロールに気を

遣いましたね。」

SS： 「そんな努力から生まれた優勝だったのですね。本当におめでとうございます。今後の目標を聞かせてください。」

森選手：「今回、学習しましたように自分の身体と相談をしながら練習を続け、大会を目指していきたくと思います。また、息子もパラ水泳の選手です。いつまでも若々しく、息子と水泳を楽しんでいきたいと思っています。」

SS： 「とても微笑ましく素敵なことですね。これからも応援しています。私も泳ぎ続けたいなと思いました。いつかの大会、ご一緒できるといいですね。ありがとうございました。今後のご活躍も期待しております。」

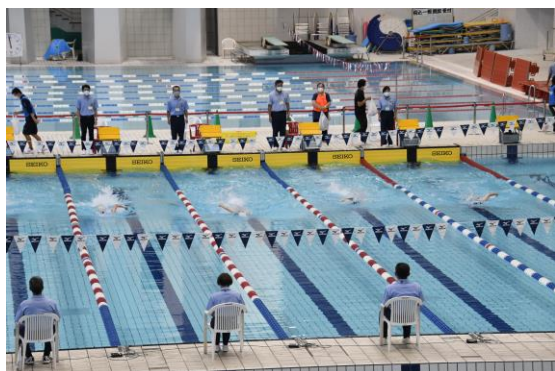


見事優勝した森晴明選手

★パラ水泳委員会★

10月16日（日）、富士水泳場にてわかふじスポーツ大会が開催されました。昨年度に引き続き、感染症対策を講じての開催となり、午前には女子の部、午後には男子の部を行いました。選手数が少なく、静かに淡々と進んでいく大会ではありましたが、その中でも多くの大会新記録が樹立され、明るい将来が見えてきたなと感じています。来年度は、通常通りの開催ができ、活気のある大会となるといいなと思っています。みなさま、ご協力ありがとうございました。

10月29日（金）～31日（月）にかけ、第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が、国民体育大会と同会場で開催されます。水泳競技には、静岡県内から9名の選手が出場します。台風やコロナの影響で過去3回が中止となり、4年ぶりの大会です。選手・スタッフ一同、「今年こそは！」と気合を入れて準備をしています。みなさま、温かい応援をよろしく願います。



競技会の様子



スタートの瞬間

一般社団法人静岡県水泳連盟広報誌

水泳静岡

2022年10月30日発行 第21号

発行所 一般社団法人静岡県水泳連盟

静岡市駿河区南町5-25才茂ビル2F

電話 054-283-6758

FAX 054-280-1340